

～ 追悼文 ～

ディアナ・イガリー、あなたのご冥福をお祈り申し上げます。

遠く離れたところに住む貴方が世界的に猛威を振るう新型コロナウイルスに侵されていたとは夢にも思いませんでした。

悲報が届いたのは4月10日、何故イガリーが・・・・！！

何度考えても理不尽な気がしてなりません。

私はもとよりこのようなことで貴方を失うなど、世界中の全ての射手は悔やんでいることと思います。

初めてあなたを見かけたのは1991年、オーストラリア・パースで開催された世界選手権大会でした。

スキート射面の横を通り過ぎる際、競技最中の貴方の射撃の取り組みには見入るものがありました。

丁度2番シングルをコールした時でした。

撃ち終わった後、次の射撃までの待機中、緊張を解きほぐす為か常に肩を震わせ、更に飛び交う標的のスピードに合わせて上半身を左右に動かし標的を追う気迫あふれる姿は命中への執念か、その動きからして近い将来必ずや世界のトップシューターになる事を感じざるを得ませんでした。

その後の競技中も最初から最後まで動きの一貫性は今も克明に覚えており、忘れることはありません。

それ以来世界大会で貴方と出会った時、一段と増す貴方の競技力向上のすべてを常に見ていました。

ワールドカップをはじめとする世界選手権大会等を制覇、遂に2004年ギリシャで行われた、アテネオリンピックでの優勝、当時私は13年前に見た「貴方の射撃の取り組みに見入るもの・・・」の実現に我を忘れて喜び、涙を流しました。

以来、偉大な貴方であるにもかかわらず、何度か日本の選手のために来日、気安く指導していただいたことに改めて心から御礼申し上げます。

安らかにやすみください、

さようならディアナ・イガリー・・・・・・

Hiroschi

Hiroschi

アテネオリンピッククレ射撃日本代表監督
寺西 寛

～ 追悼文 ～

Diana さんがお亡くなりになったニュースは SNS で知りました。

まさか、そんなはずはない！！と思い、彼女の息子さんとかつてのコーチにすぐ連絡を取り返信を待ちました。返信を待つ間心臓の鼓動が止まず、まさか、まさかと信じたくない気持ちで SNS やニュースを調べました。その中に新型コロナウイルスの合併症によって亡くなった、との記事が。

私は身内を含め身近にこのウイルスで命を落とした人がいないため、信じられない気持ちと共に現実に目の前に起きた悲しい出来事にどう自分の気持ちを添わせたらよいかしばらく分からず心の中が無になっていました。そして彼女の息子さんとコーチの返信によってその悲しい出来事が現実だと知り、心の底から新型コロナウイルスが憎い、という感情が湧きました。

Diana との出会いの時期は正確には覚えていません。

私が音楽大学を卒業した翌年、クレ射撃でオリンピックを目指すことになった後に出会ったコーチが彼女の古い知り合いでした。まだ会ったこともないハンガリーの女性シューターがいかに優れた射撃選手か、そして偉大かを何度となく聞かされていたので、早く日本代表選手になって彼女に会ってその射撃を見てみたいと思っていました。

何年か経ち、私が日本代表として海外試合に出場できるようになり、彼女の射撃を見る機会が訪れました。彼女が射台に入った瞬間、これから放出される標的に向かう強い気持ちと緊張感がピンと張りつめた真剣な眼差しに表れます。まだ引き金を引いていないのに絶対割れるだろうな、と分かるのです。本当にすごいなと感じました。

最後に彼女の射撃を見たのはかなり前になりますが今も私の脳裏に鮮明に残っており、試合の前にその瞬間の表情をイメージすることで私の緊張感も一気に高まります。

常に強い気持ちで向かう彼女の眼差し。

私はあの表情が本当に大好きです。

そんな彼女の私生活に触れるチャンスがありました。

2005 年に私のコーチが日本の射撃選手に『是非 Diana の実際の射撃を生で見せたい』と日本でのデモンストレーションを企画し彼女は自身のコーチと共に来日しました。試合と一緒に射撃をし、帰国までの数日は京都、奈良、大阪を観光しました。射撃から一步離れた Diana は私よりお姉さんですが表情はとても愛らしく、心の綺麗さがその笑顔に溢れるような女性でした。

射撃をしているときの表情とは 180 度真逆なのがまた魅力的でした。射撃に対してはとても強い気持ち、そしてプライベートではいつも笑顔で優しい眼差しで私を妹のようにみてるお姉さん。

オリンピックメダリストの素顔はどんなものだろう？と強い興味を持っていたのですが想像以上でした。

オリンピックの頂点に立つ人はやはり素晴らしい人格の持ち主なのだと感じたことを憶えています。

当時私は 2004 年のアテネオリンピックから種目変更をしたばかりで分厚い壁にぶち当たっていました。

私が悩む姿を見た彼女はそれでも私を常に褒めて励ましてくれました。

その数年後、北京で行われたワールドカップで彼女に会った際、なんと息子さんを紹介してくれました。彼女の愛情を沢山受けて育ったのだらうなと感じるほど笑顔が素敵な方でした。今回連絡を頂いた際、彼から『母はあなたとあなたのコーチの話をいつもしてくれたんですよ』と話してくださり目頭が熱くなりました。もう会えないなんて信じられません。

彼女とは競技種目が違うのですが、いつか機会があればハンガリーを訪れ彼女のもとでトレーニングを試みたいと考えていました。その『いつか』がなくなるとは思ってもみなかったのが、今となってはそれが一番の後悔です。

私の中での一番の宝物は Diana と 2004 年に行われたアテネオリンピックに出場したことです。彼女が金メダルを獲得した翌日、朝食会場からの帰りにばったりコーチと会ったのです。キラキラに輝く金メダルを首からかけた彼女と記念に写真を撮ってもらいました。確かあの時、Diana は私の首に金メダルをかけてくれようとしたのですが、とても恐れ多くて断ったことを憶えています。その一番の思い出は当時から今も尚、我が家のリビングにはその写真が飾ってあり毎日のように彼女の笑顔を見えています。

Diana,

あなたは強い心と優しさを私に教えてくれました。

私はあなたほど強く優しい女性を知りません。

もっともっと話してみたかった。

もっともっと射撃を学びたかった。

あなたの残した優しさはこれからも永遠に私の心の中で生き続けます。

ありがとう、Diana.



アテネオリンピッククレー射撃日本代表

井上 恵



2004年アテネオリンピックにてディアナさんと



ディアナさん、ディアナさんのコーチ、ディアナさんの御子息との京都観光での一幕

※御本人提供全写真掲載許可済

～お別れセレモニーの様子～



アテネオリンピックで金メダル獲得時の写真が遺影となっていました。



お二人の想いが詰まったディアナさんをイメージし贈った花輪もセレモニーへ飾られました。



ハンガリーハンティングホルンアンサンブルがシグナルを担当されていました。

※撮影者より全写真掲載許可済